

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

いよいよ運動会が始まります

素晴らしい運動会!!

多くのお客様をお迎えし好天にも恵まれ、第2回運動会を無事に終えることができました。昨年と比べ倍以上の児童生徒数になり、より運動会らしくなったことはもちろんですが、子ども達が元気良く全力で取り組む姿が、本当に気持ちよく感じることでできた運動会になりました。

開会式の児童生徒会長あいさつがとても素晴らしく、私は急きょあいさつの内容を変えました。いろいろな場で呼びかけている「3つの(あ)」について、元気の良い声をたくさん聞かせてほしいこと、勝っても負けても全力を尽くすこと、競技の後にはお互いをたたえ合ってほしいことの3つをお願いしました。

子ども達はその3つをととても良く実践していたと思います。何よりも大変元気がありました。予行練習の時に比べ、はるかに大きな声が出ていました。みんなの声の大きさからも、1人1人のやる気が伝わってきました。



なかなか入らない「玉入れ」

それ以上に素晴らしかったのは、全ての競技・演技に誰もが全力で取り組んでいたところです。赤組と白組に別れて勝敗を競ってはいますが、勝っても負けても全力で取り組むことが一番大切であり、そういう経験を通して自分を磨いていくことができるのだと思います。お互いに勝利を目指して頑張りますが、負けたからといってそれまでの努力が無駄になるわけではありませぬ。勝敗にこだわりすぎて、結果が予想できたところ



とても力が入った「綱引き」



運動会の定番「フォークダンス」



多くのお客様のお陰で大変盛り上がった運動会になりました

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

門司大使はじめ来賓の皆様

じています。今後も応援していきます。

いつも思うことですが、保護者の皆様をはじめ、日本人学校を温かく見守り応援して下さる方々のお陰で、このように楽しく充実した活動ができるようになってきました。そうした陰で支えて下さる多くの方々の期待に応えることができるよう、私達はさらに気を引き締めて頑張っていかなければならないと気持ちを新たにしています。



見ているだけでも手に汗握るとても力が入った「綱引き」

素晴らしい運動会2

たくさんのお客様のご協力により、とても和やかな雰囲気の中で思っていたよりスムーズに運動会が行われました。

保護者種目はもちろん、一般種目等にも多くの皆様に快くご参加いただき、大変嬉しく思っています。ご参加くださった来賓の皆様からの感想を、一部紹介させていただきます。

①立派な運動会、生徒が皆さん本気なのが何よりも嬉しいです。外から出来るお手伝いをさせていただきただけですが、今後も何かご相談あればいつでもお話をしたく、引き続き宜しくお願い申し上げます。

②子供達の一生懸命な姿に元気をもらいました。ここドーハでの生活は大変なことも多く、児童生徒の皆さんも苦労されていることと思いますが、安全で平和な中で学校生活を送れるのが何よりと思います。綱引きで、リレーで泣いてしまった子がいましたが、大丈夫でしょうか。きっと悔しさ



温かい励ましを受けた閉会式

が将来の飛躍につながると思います。玉入れで、子供に対して勝ち誇る大人達の姿も印象的でした。

③非常に温かいムードで全体が一体感にあふれた運動会であったと思います。この雰囲気、空気はドーハ日本人学校ならではの素晴らしいものだと思います。どんな行事においてもどんな場面においても、全力で取り組む児童生徒の一生懸命さと、そしてそれを支えられる先生方の熱意が、あわさって出てくるものだと感



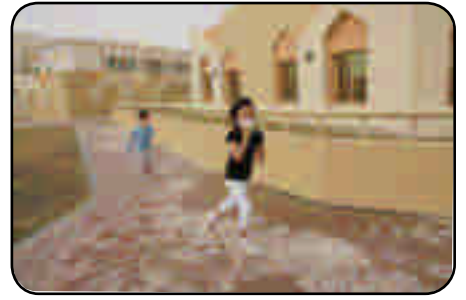
見ているだけでも手に汗握るとても力が入った「綱引き」



「よさこいソーラン」：多くのお客様の前で最高の演技でした

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

体調に合わせて無理をしないように

次は「砂丘マラソン」

運動会が終わって間もありませんが、来週の火曜日には「砂丘マラソン」が計画されています。昨年の経験者は良く分かっていると思いますが、砂の上を走るのはとても難しいのです。みんな一様に大変だったと言っていました、同時にとても貴重な経験になったことを喜んでいました。

今回もこの国ならではの体験にしたいと思っておりますが、多少心配な点があります。それは、運動会前から体調を崩している子どもが多いためです。今週に入っても欠席者が続いている、残念ながら全員が揃ったことがありません。しかし体調がすぐれないとき、決して無理をすることはできません。しっかりと休養し、1日も早く元気を取り戻してほしいと思います。

体育的な行事は、体調がすぐれないと楽しさが半減してしまいます。頑張ろうという気力もなくなります。健康であることの大切さを、改めて考えるこの頃です。



元気なときは自分に挑戦しよう

もう1点気になっていることは、中間休みのマラソンのことです。12月の半ばから行っていますが、昨年と比べて走っている回数がずいぶん減ってしまったように思います。少なくとも3周以上走りましょうと呼びかけて始まりましたが、3周走ると終わってしまうことがほとんどで、それ以上頑張っている子どもはごく少数でした。

日本に比べて、絶対的な運動量が不足するこの国の生活では、間違いなく持久力が落ち込んでいきます。よほど意図的に取り組まない限り、現状を維持することも難しいと思います。これは、かつてこ

の国で3年間生活して、私自身痛いほど感じたことです。体力的にも運動能力の面でも、滞在年数が長くなるほど落ち込みが大きくなっていく子ども達と接してきて、何とかしたいと思う最大の課題でもありました。

海外で健康に過ごすためには、何にでも挑戦しようと思う前向きな気持ちを持つことが一番だと思います。しかし限られた期間しか戸外で活動できないという事実は変えられません。与えられた条件の中で、子ども達の健やかな成長のためにできる限りのことをする。砂丘マラソンもそんな機会にしたいと思います。

学校の「看板」を新しくしました

開校時玄関に設置してもらった学校名の看板が、色落ちなどの痛みが目立ってきたので、先日新しいものに取り替えました。それに合わせ、ゲート横の壁にも同じように校名の看板を設置しました。

今までは砂で汚れた看板を

きれいにすることがなかなかできませんでしたが、新しいものは管理もしやすく助かります。また入り口がわかりにくく、迷われたり学校を間違えて訪れたりする人が多かったのですが、そういう間違いも減らせると思います。



玄関に掲げた看板を新しくし、ゲート横にも設置しました